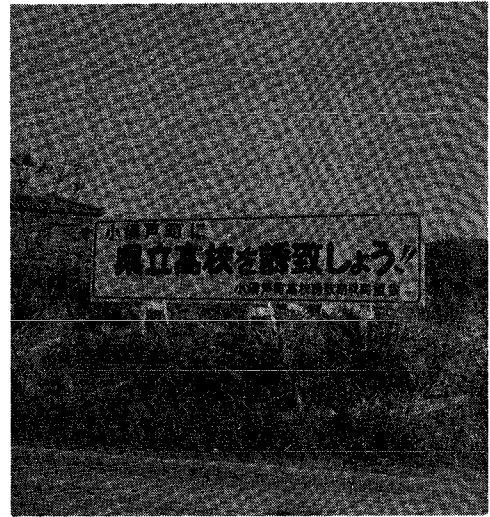
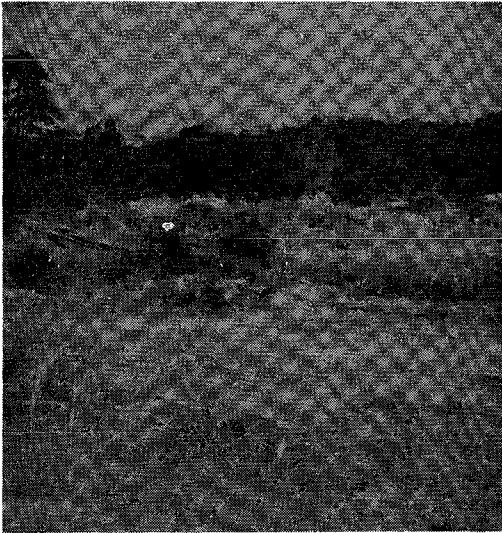


全町民の願い稔る！ 県立高等学校が小須戸町に

高校建設予定地全景と
予定地にある大看板



一学年六学級の普通科

「小須戸町に県立高校を！」の願いをこめて、50年5月25日に「小須戸町県立高等学校誘致期成同盟会（会長、五十嵐町長）」が結成され、この同盟会が中心となって、町民一丸となったの誘致運動が進められておりましたが、この運動が十分に稔り、新津地区に高等学校が一新設されるのが新聞等で発表され、10月25日の県総務文教委員会では、新設場所として小須戸町に建設する方針が明らかにされました。大字矢代田金山地区に既に町が買収を完了しておる四万七千平方メートルの「緑が豊かな、通学の便に恵まれた」、この用地が高校用地に充てられる計画です。

さる10月5日には、県教育委員会事務局の職員が、「高校誘致陳情」の下見として、この用地を視察に来町しました。

この高校の規模は、一学年六学級の普通科で、54年度に着工、55年度開校の目途で進める——という県の基本方針であり、決定されるには県議会における議決が必要となります。

今後は、県議会において早急に予算計上されるよう、期成同盟会では県に対して陳情を続けていく方針ですので、町民各位のより一層のご協力をお願いします。

